

八王子千人同心の足跡をたどって

姉妹都市盟約50周年を迎える八王子市と苫小牧市と日光市。姉妹都市の縁を取り持ったのは、幕末に苫小牧市と日光市の両市で活躍した「八王子千人同心」でした。各姉妹都市には千人同心の功績をたたえる碑が建立され、冥福を祈る慰霊祭も行われています。

千人同心が地名の由来となった千人町などには、その面影が残っており、各姉妹都市とのつながりを感じられるスポットも。彼らの功績に触れてみませんか。

八王子千人同心の始まり



千人同心の像
(鶴巻橋)

落城した八王子城周辺の治安確保などのために、徳川家康が武田氏の遺臣を八王子城下へ移したのが始まり。文禄2年(1593年)に現在の千人町やその周辺に屋敷を与えられ、屋敷のある町を「千人町」、遺臣を身分に応じ、それぞれ「千人頭」「千人同心」と呼ぶようになりました。

市内に残る千人同心と姉妹都市ゆかりの場所

興岳寺

(千人町一丁目)



いしざかやじえもん
石坂弥次右衛門の墓

幕末の戊辰戦争で新政府軍に戦わずして明け渡し、日光東照宮を戦火から守った千人頭・石坂弥次右衛門。その後、責任を追及する声もあり、帰郷した夜に切腹しました。興岳寺には、命を賭して東照宮を守った弥次右衛門の墓があり、墓石の前には日光市から贈られた香台が置かれています。

本立寺

(上野町)



はらたねあつ
原胤敦(写真右)と
弟・新介(同左)の墓

蝦夷地の開拓と警備のため、千人同心を率いて北海道に渡った千人頭・原半左衛門胤敦と弟の新介。しかし、過酷な自然条件などにより、4年で終了せざるを得ませんでした。2人は本立寺に眠っており、墓前の石灯籠は彼らの功績をたたえようと、苫小牧市から贈られました。

涼しさを感じに

いこうよ！夏の高尾山へ

7/20～8/31

日本の文化と自然を満喫する

夏の高尾山“清涼”体感めぐり

問 八王子観光コンベンション協会
☎649・2827 FAX686・1388

7月20日～8月31日に、高尾山の魅力を五感で楽しむイベント「夏の高尾山“清涼”体感めぐり」を開催します。詳しくは八王子観光コンベンション協会のホームページ(右の二次元コード)からご覧ください。



●高尾山“夏の涼風そば”キャンペーン

対象のそば店(15店舗)で、お得な割引引きを受けられるキャンペーンを行います。

●高尾山スタンプラリー

対象のそば店や施設などでスタンプを集めた方に、高尾山口観光案内所でオリジナルうちわをプレゼント(先着2,000名)。

●“江戸風鈴の里”

高尾の風がお出迎え

各所に飾り付けられた江戸風鈴の音色を楽しめます。



8/17～25

高尾山

夏のライトアップ

問 観光課
☎620・7378 FAX627・5951

高尾山薬王院の本堂や仁王門などをライトアップします。昼間とは違う、幻想的な雰囲気をお楽しみください。

日時 8月17～25日の午後6時30分～8時

■ミストシャワーと竹あかりを設置

ケーブルカー清滝駅前に、昼は涼しいミストシャワー、夜は辺りを優しく照らす竹あかりを設置します。

期間 7月20日～8月31日

内容・時間 ▶ミストシャワー…午前8時30分～午後6時
▶竹あかり…午後6時30分～8時30分

